

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016 年度（前期）指定公募
「市民の集い開催への助成」
完了報告書

指定テーマ

「在宅医療」知っていますか？家で最期まで療養したい人に。

平成 26 年 11 月 22 日 第一回

申請者：山越由美子

所属機関：訪問看護ステーションライム

提出年月日平成 27 年 12 月 27 日

・はじめに

「家でそんなことまでしてもらえるんですか？」

「訪問看護って誰でも使えるんですか？」

「在宅医療って費用はかなり高いんですね？」

訪問看護事業を開始してそんな声を聞く機会が少なくありません。

介護保険が開始した年に父の介護に直面することとなりましたが、介護保険制度や、それを取り巻く仕組みの煩雑さから使い方が分からず、独居の父に支援することができなかったことが今でも心残りに思っております。

その経験から、知らないことで困ることが減るように啓蒙活動をしてきました。

内容

・訪問診療をしている先生を招き、在宅医療についての講演をいただく。

また在宅医療が必要でない方でも各規模に応じた病院の機能や役割を皆さんに知ってもらい、適切な受診やかかりつけ医の重要性について理解をいただく。

・訪問看護を通じて介護保険の使い方や、各多職種の役割や介護保険サービスについて理解してもらう。

・感想

都営住宅の集会室での開催で民生委員などに声かけを行い、多くの参加者に参加していただきました。

年代は40代から80代と幅広く来ていただき、介護経験がある方、無い方も両方居りました。介護経験のある方でも介護保険や在宅医療の仕組みなど分からないまま利用しているケースが多く、どのような制度でどのような料金体系になっているのかということについても分からないまま、介護をしていたという意見も聞かれました。

包括の相談員や地域のケアマネージャーが参加していただいております、各専門的な質問等にも答えることもできましたので、参加者にも満足いただけての開催となりました。

包括や区役所といった窓口での相談の場では聞けないような内容をざっくばらんとした空気で気軽に質問できる人数規模だったので、双方向のコミュニケーションをとることができたので、このような場所での啓蒙の重要性を改めて感じました。

本来の予定では毎月1回の開催予定でしたが、予定していた集会室が翌月から利用できない状態となってしまいました。

当ステーションのある地域の高齢者やそのご家族向けということでしたので、対象とする方たちが歩いていけるような近隣の地域の施設等にも当たったのですが、利用許可が下りず会場の確保ができないため開催を大幅に減らすこととなってしまいました。

次回以降は地域の住民向けのみでなくもっと広く考えていくこと。また、近隣施設との

信頼関係等を作り、理解してもらうことで会場の確保はもっと容易になると感じております。

また今回の開催の経験を通じて、渋谷区南部地域にてオレンジカフェを開催する許可をいただいたのでステップアップしていきます。

お力添えいただいた勇美記念財団には深く御礼申し上げます。

より多くの人に地域医療、在宅医療を知っていただき、病気の方の自己実現のための選択肢を一つでも多く増やせるよう努力してまいります。

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による。

第1回

訪問看護ステーションライム セミナーのご案内

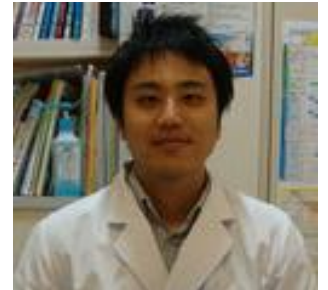
11月22日（火）10時～

参加費無料

まずは知ることから始めませんか？お気軽にご参加ください。

表題：

「在宅医療」知っていますか？ 家で最期まで療養したい人に。



◇講師：田中 公孝氏 家庭医
東京西部保健生活協同組合上井草診療所

講師からのメッセージ

「いつまでも住み慣れた土地で安心して暮らしたい」

そう思われる方も多いのではないのでしょうか？

しかし、人生何があるかわからないのもまた事実です。
急な病気で入院してしまい、体が動かない状況になれば、
在宅医療や介護の助けを借りて生活になるかもしれません。
いざという時に慌てるより、今からそうなった時にどうしたら
良いか考えてみませんか？

杉並区で地域医療・在宅医療に携わっている立場から、
在宅医療についてわかりやすくお伝えしたいと思います。
当日は、日頃の医療についての質問にもお答えします。
多くの方のご参加、お待ちしております！



【会場】 広尾5丁目団地 第2集会室

【お問い合わせ先】 訪問看護ステーションライム TEL 03-6447-7733

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団